

都市再生整備計画(第2回変更)

臼田地区

(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))

長野県 佐久市

平成30年2月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	さし 佐久市	地区名	うすだちく 臼田地区(都市再構築戦略事業)	面積	32.8	ha							
計画期間	平成	27	年度	～	平成	30	年度	交付期間	平成	27	年度	～	平成	30	年度

目標

大目標：交流と協働で織りなす健康あふれる活力ある都市づくり

目標①：地域の中核病院を拠点とし、地域医療体制を一層充実させ、持続可能な健康長寿のまちづくりを推進する。

目標②：交流拠点を中心とした世代間交流等による地域コミュニティの再興を図る。

目標③：「世界最高健康都市」の実現に向け、交通ネットワークの整備による安全で快適な生活環境の確保と交通拠点を中心とした交流と賑わいを創出する。

目標設定の根拠

都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)

・臼田地区には、「農民とともに」の精神で地域のニーズから出発し、県内東信地域に密着した第一線の医療から専門医療まで包括的に担う公的基幹病院として発展を続けて来た佐久総合病院がある。高いヒューマニティを持って、農村部に特有の健康問題を解決しようというところから「農村医学」という学問も生まれており、医療・健康・福祉が特に充実した地域である。古くからJR小海線臼田駅や佐久総合病院を中心として、日常サービス型の商業施設や医療関連施設、小・中・高校や看護専門学校や文芸施設、警察署・文化ホール・臼田支所等の公共施設が集積する佐久地域南部における中心地として発展してきた。

・高速自動車道・新幹線をはじめとする高速交通網の整備やモータリゼーションの進展に伴い、郊外型商業施設の立地や郊外への人口流出によって拡散型の都市構造が進行したことにより、臼田地区の中心市街地では空洞化が進んでいる。また佐久総合病院が高度医療と地域医療の各部門を分割して充実させる再構築計画を進め、平成26年3月に高度医療部門が中込原地区に移転したことから、都市としての求心力が一層低下し、地域経済と活力の衰退や人口の流出が顕著となっている。昨今の高齢化社会の本格的な到来による社会経済情勢にあって、特に高齢者世帯、高齢者単独世帯の増加は地域内のコミュニティ機能を低下させており、持続可能なまちづくりのためにも、交流と賑わいの創出と地域コミュニティ機能の再生、そして都市機能の集積が必要となっている。

・こうしたことから、臼田駅を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置づけ、民間や公共が保有する低未利用地等の活用などにより、臼田地区の再構築を行うことで、健康長寿のまちづくりの推進、人々の回遊や地域交流活動の拡大によるまちの賑わいの創出、中心市街地の公共・公益サービス機能の維持・強化による都市機能の拡散防止を図る。

・また、中心拠点区域外にある佐久広域連合が運営する養護老人ホーム・特別養護老人ホーム「勝間園」については、昨年、施設介護のみならず医療的ケアが必要なケースが増加していることから、佐久総合病院との連携により圏域全体の医療的ケアに対応できる複合的・高次機能を有する施設を中心拠点区域内において移転整備することを計画しており、住民と行政との協働によって、健康・医療・福祉の包括的地域ケア体制を発展させながら、新たな福祉のまちづくりの拠点として役割を担う。

・公的不動産の活用策として、第二次佐久市行政改革大綱(H24.2策定)に基づき公的不動産の有効活用の観点から資産の適正管理、施設配置と整備の適正化やその在り方について不断に点検・検証を行い、中長期的かつ多角的な視点に立った施設の縮小・廃止・統合の検討を進めることとしている。その先駆的な取組として、勝間園移転場所の選定にあたっては、中心部になる公共施設を最優先に検討し、公共公益施設のコンパクト化により、市民サービスの向上や行政コストの縮減から現支所用地とし、支所はスケールダウンし隣に改築することとしている。

・更に立地適正化計画に基づき、中心市街地の都市機能の更新等にあわせて再配置を行うことで、持続可能な都市構造を実現し、まちなか居住の促進や本箇所を拠点とした市内のネットワーク形成を図る。

まちづくりの経緯及び現況

・佐久南部地区の拠点であり、臼田駅をと佐久総合病院を中心とした市街地により商業地が形成されている。

・農村医学の発祥の地として、佐久総合病院は県内東信地域の公的基幹病院としての役割を果たしてきたが、平成26年、高度医療部門と地域医療部門が分割再構築されることになり、臼田地区には地域医療部門が再築される。

・龍岡城五稜郭・新海三社神社などの歴史文化資源や、臼田宇宙空間観測所・臼田スタードームなどの自然科学資源に恵まれた地域である。

・太平洋と日本海を結ぶ中部横断自動車道は、平成29年度中に(仮称)八千穂インターチェンジまで供用予定であり、近接して臼田インターチェンジの整備が進められている。

・少子化社会の到来や子育て世代の臼田地区外への住み替え等により、臼田地区小学校4校の統廃合を含めたあり方についての検討がされている。

・佐久広域連合が運営する養護老人ホーム、特別養護老人ホーム「勝間園」が佐久総合病院周辺に移転再築される計画がある。

・臼田地区は公共交通機関が充実しており、鉄道のJR小海線のみならず、首都圏や県都への高速バスの発着地、市内巡回バスとデマンドタクシーの停留所となっている。

・臼田まちづくり協議会やうすだ美園(市民活動サポートセンター)等のまちづくりに関する活動が盛んである。

課題

・公共施設や暮らしに必要な機能が集積していることを活かし、幅広い世代が地域を守り、住み続けるといった郷土愛を醸成することにより、人口の流動化を抑制する必要がある。

・佐久総合病院の分割再構築に伴う来院者の減少により医療関連の経済活動が減少するとともに、地元商店街への経済的波及効果が減少している。

・健康長寿を全うできるよう、また安心して子どもを育てることができるよう、公共交通機関から徒歩圏内に、地域の核となる医療機関の充実が必要である。

・相互扶助力を高めるコミュニティ機能の強化育成のために、地区内の交流の拠点整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

(第一次佐久市総合計画後期基本計画)

・みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

・ネットワークで築く地域の特色を生かした多機能まちづくり

(佐久市都市計画マスタープラン)

・歴史・文化・健康と歩むまちづくり 佐久南部の中心拠点

五稜郭、天体観測施設などの歴史文化資源等を活用した、安全・安心でいきいきと暮らせるまちづくりを推進する。

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【地域の中核病院の整備を拠点とし、地域医療体制を一層充実させ、持続可能な健康長寿のまちづくりを推進する】 「世界最高健康都市」を標榜している本市にとって、医療体制の充実が市民が最も重用視する施策のひとつである。計画区域だけでなく、周辺地区において必要な医療施設である佐久総合病院の充実が、当該地域医療に資する重要な施策である。</p>	<p>【関連事業】 ・都市機能立地支援事業：佐久総合病院本院</p>
<p>【交流拠点を中心とした世代間交流等による地域コミュニティの再興を図る】 低未利用地を活用して、市民の交流活動促進と地域医療に合わせた交流の場の整備を行う。</p>	<p>【基幹事業】 ・地域生活基盤施設（都市再構築戦略事業）：臼田駅前広場 【関連事業】 ・効果促進事業：事業効果分析事業</p>
<p>【「世界最高健康都市」の実現に向け、交通ネットワークの整備による安全で快適な生活環境の確保と交通拠点を中心とした交流と賑わいを創出する】 主要幹線道路の交通安全施設整備により安全で快適に移動できる道路環境を整備することにより地域間交流を推進する。</p>	<p>【基幹事業】 ・道路（都市再構築戦略事業）：（都）取出中央線</p>
<p>事業実施における特記事項</p>	
<p> </p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	53.0	交付限度額	26.5	国費率	0.5
---------	------	-------	------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路(都市再構築戦略事業)		(都)取出中央線	佐久市	直	L=180m	27	28	27	28	38.1	38.1	38.1		38.1	-
道路															
道路															
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業)		臼田駅前広場	佐久市	直	2,100㎡	28	28	28	28	14.9	14.9	14.9		14.9	-
高質空間形成施設															
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										53.0	53.0	53.0	0	53.0	-

提案事業(継続地区の場合のみ記載)															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業															
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										0	0	0	0	0	0

(参考)関連事業															
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費				
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度					
都市機能立地支援事業	佐久総合病院本院(中心拠点誘導施設)	JA長野厚生連	国土交通省	5,368㎡		○			27	30	2,070.6				
効果促進事業	事業効果分析事業	佐久市	国土交通省			○			30	30	2.0				
合計											2,073				

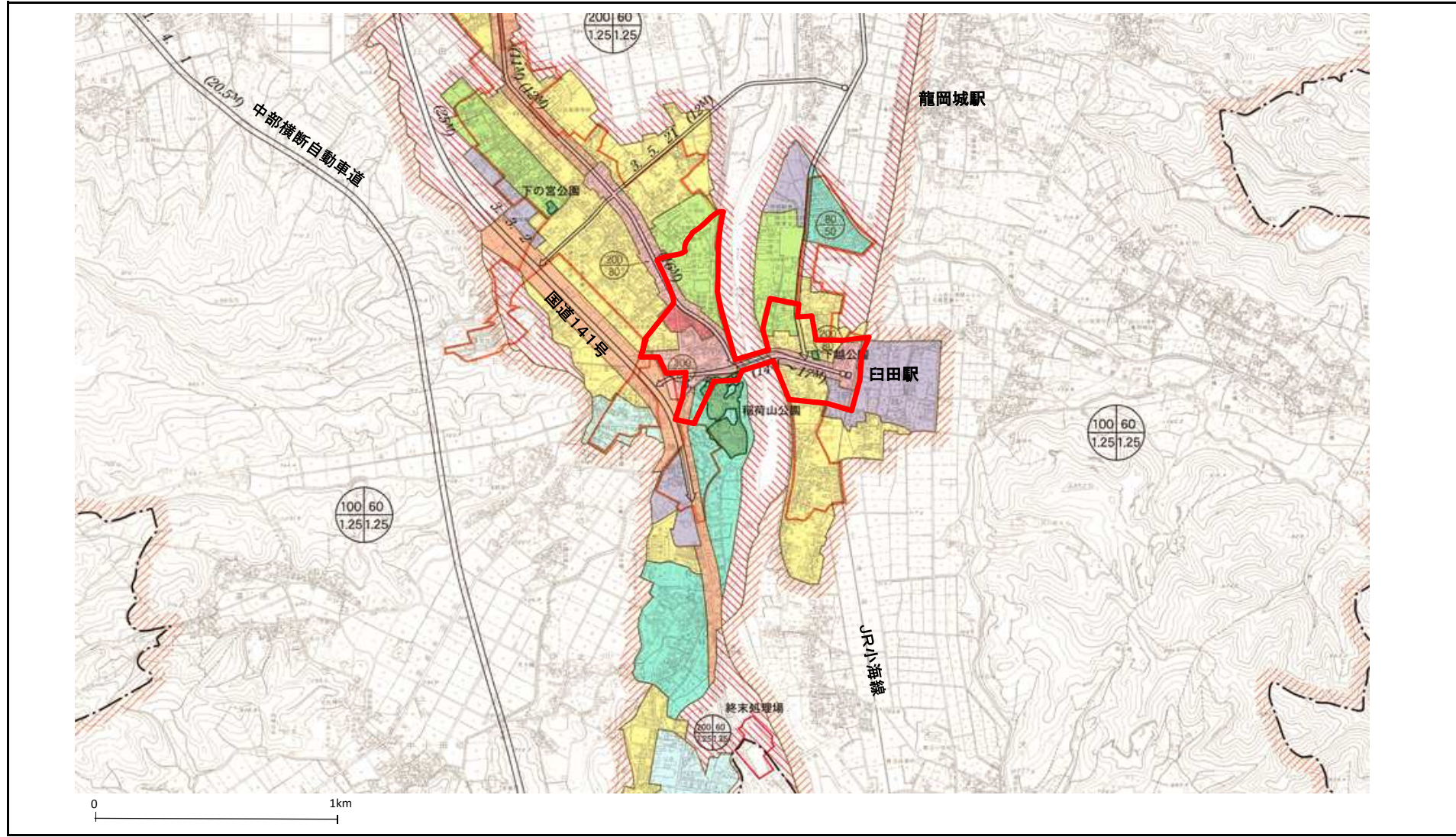
合計(A+B) 53

…A

…B

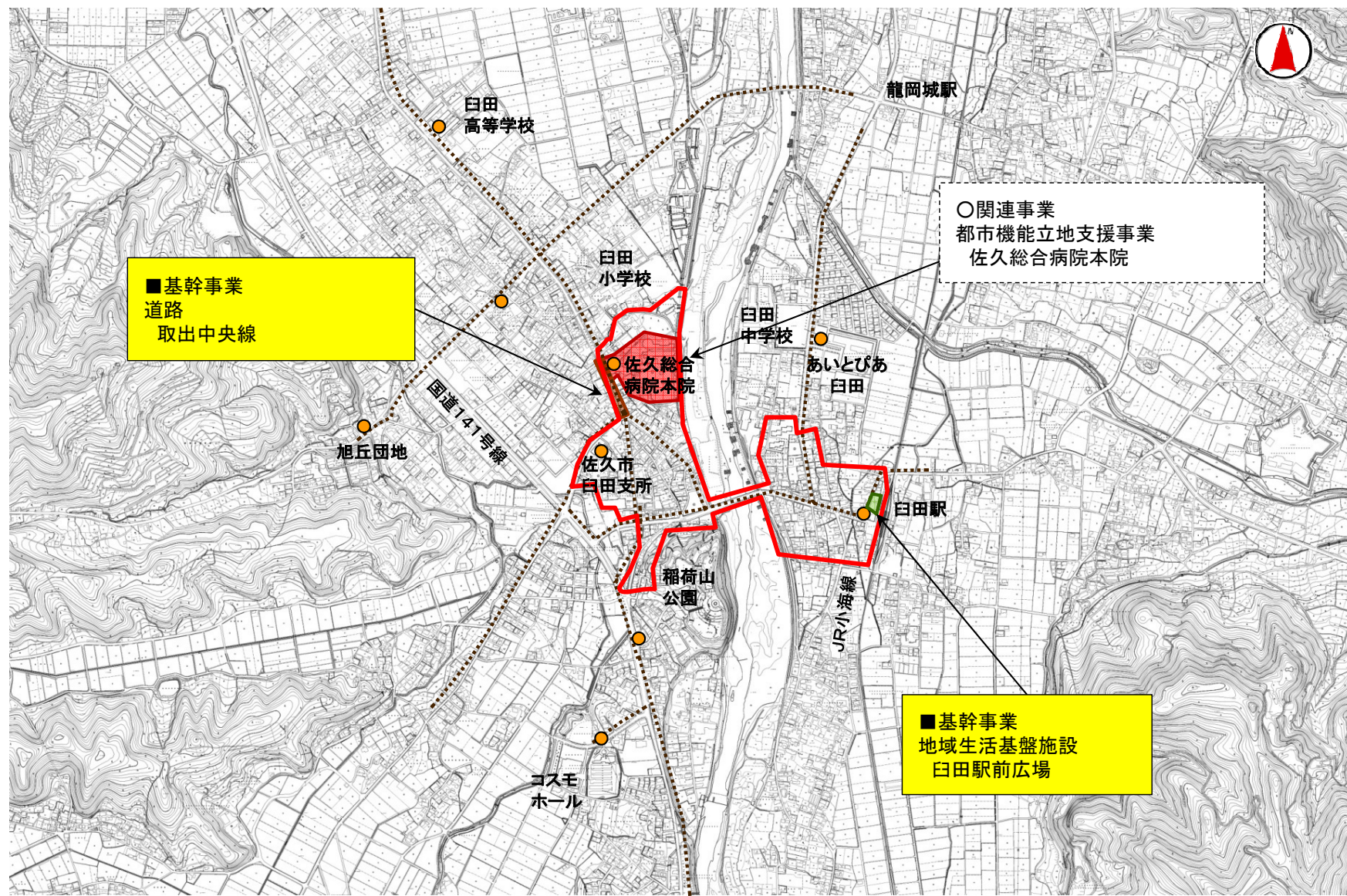
都市再生整備計画の区域

臼田地区(長野県佐久市)	面積 32.8 ha	区域 臼田・下越地区
--------------	------------	------------



白田地区(長野県佐久市) 整備方針概要図

目標 交流と協働で織りなす健康あふれる活力ある都市づくり	代表的な 指標	当該地区の人口 (人/年)	4,822 (H25年度) → 4,737 (H30年度)
		日帰りドック利用者数 (人/年)	8,266 (H25年度) → 11,438 (H30年度)
		「保健室活動」利用者数 (人/年)	0 (H25年度) → 180 (H30年度)



凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業